

## 新造フェリー「さんふらわあさつま」乗船会報告(その1)

事務局長 池田良穂

梅雨の真ただ中の6月22～24日にかけて、学会主催で㈱フェリーさんふらわあの新造船「さんふらわあさつま」の乗船会を実施しました。乗船会の日程が決まってからの募集期間はわずか1ヶ月余りでしたが、幸いにも29名の参加者があり、成功裏に終えることができました。以下、乗船会の報告です。

6月22日の大阪は梅雨の合間の晴れ日でした。まず、私は、早朝7時から大阪南港に入港する「さんふらわあさつま」を出迎えることにしました。乗場は、かつてのかもめ埠頭から、ACT(アジア貿易センタービル)の一面にある㈱フェリーさんふらわあ「さんふらわあターミナル」で、別府航路がターミナル1、志布志航路がターミナル2です。徒歩客は、ターミナル1からターミナル2まで連絡バスで送迎されます。

ACTの東の端から、入港してくるフェリーを撮影することができます。「さんふらわあさつま」の入港前に、沖縄航路のRoRo貨物船「うりずん21」が通過していきました。

続いて「さんふらわあさつま」の入港です。真っ白な船体が朝日に輝いていました。着岸まで見届けて、一度、堺の自宅まで帰りました。

さて、今回の乗船会では、停泊中の船上で、講演会と船内・ブリッジ見学をさせていただけることになりました。15時にターミナル1に集合し、バスでターミナル2に乗船し、ランプウェイから船内に入りました。車で乗船しないとなかなか見られない区画なので、みなさん興味しんしんの様子で、写真を撮影しながら客室へのエスカレーターのところまで歩きました。

エスカレーターの部分は、床は木甲板のような材質を使い、壁もなかなかオシャレなデザインでした。乗客にとっては乗船時のファーストインプレッションと、下船時のラストインプレッションに直結する場所だけに粋なデザインといえます。

エスカレーターを登ったところが6階デッキで、3層吹き抜けのアトリウムになっています。周りにはレセプション、ショップなどが配置され、右舷側に広々としたインサイドプロムナードがあり、船尾のレストランへと繋がっています。

荷物を置いて、まずは各種のキャビンを見て回る船内見学をさせていただきました。その後、レストランの一面で、「フェリーさんふらわあ戦略」、そして建造所からの「さんふらわあさつま」の説明がありました。



早朝、さんふらわあの着く岸壁の沖を、沖縄航路の RoRo 貨物船「うりずん 21」が通過していきました。



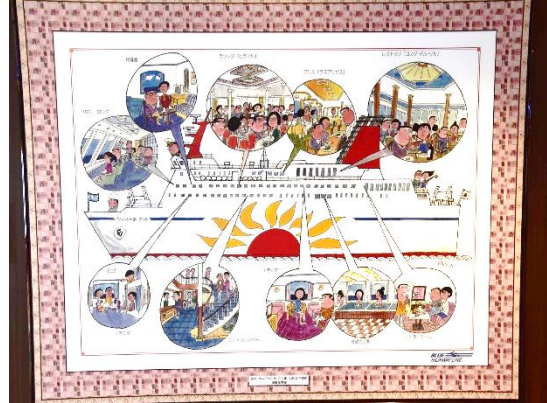
ランプウェイを通過して車両甲板から乗船しました。



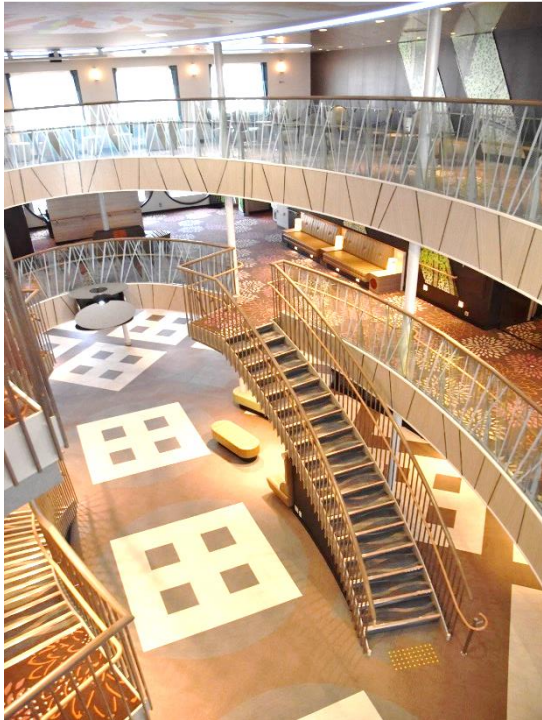
エスカレーターホールの内装もきれいでした。



さんふらわあさつまが入港してきて、別府航路の「さんふらわあこぼると」の隣に着岸しました。



レセプションの前の壁には先代「さんふらわあさつま」の良平先生のイラストが飾られていました。



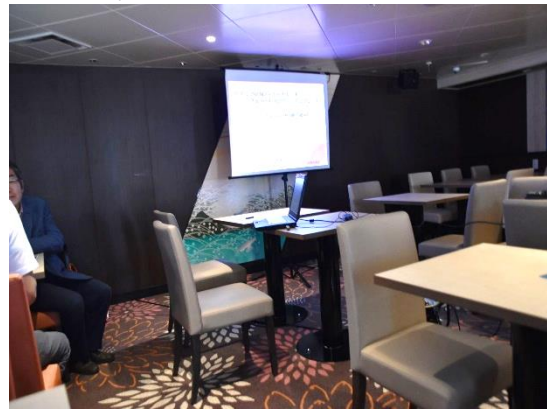
3層吹き抜けのアトリウム。天井を使ってプロジェクションマッピングが行われます。



広々としたインサイドプロムナード。



レストランはバイキング式で、中央にあるビュッフェコーナーです。



レストランの一面を使って講演会が開催されました。